

事業特性に応じた多様な入札契約方式

小谷野 清¹・松本 育之²

¹非会員 東日本高速道路株式会社 技術管理課（〒100-8979 東京都千代田区霞が関三丁目3番2号）
E-mail:k.koyano.aa@e-nexco.co.jp

²非会員 東日本高速道路株式会社 技術管理課（〒100-8979 東京都千代田区霞が関三丁目3番2号）
E-mail:y.matsumoto.ac@e-nexco.co.jp

東日本高速道路株式会社（以下「当社」という。）では、特定更新等事業の本格化及び昨今の入札不調に対し、固有の事業特性に応じた契約制度の試行実施や入札不調対策としての契約制度などの取組みを実施している。本論文では、事業特性に応じた取組みの実施事例について報告するとともに、入札不調対策として実施してきた取組みの実施事例及び実施効果、課題について報告するものである。

Key Words : bidding and contract system, measures against the failure of bid, project characteristics

1. はじめに

当社では、東日本地域的高速道路について3,842kmを管理運営するとともに、146kmの新設、120kmの車線拡幅事業を行っている。

当社の管理延長のうち、供用から30年以上経過した高速道路は総延長の約4割を占めており、経年劣化の進行、大型車の増加、積雪寒冷地や海岸部の通過延長の増加など厳しい使用条件下での構造物の劣化が顕在化してきている。今後も経済・社会・医療・防災など社会基盤を支える大動脈としての役割を果たすため、高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）をはじめとした、これまで経験したことのない、難易度の高い工事への対応が求められている。

このためゼネコンなどの民間企業が持つ優れた技術・ノウハウを積極的に活用しながら円滑かつ着実に事業の進捗を図るために、多様な入札契約制度を積極的に導入している。

また、工事における技術者、技能労働者の不足、資機材価格の高騰等に伴い、応募者が一切ない不成立、契約制限価格を全者が超える不落札、といった入札不調が発生しており、種々の対策を実施している。

本論文では、現在当社で取り組んでいる、「設計・施工一括発注方式」、「設計段階から施工者が関与する方式」、「技術提案・交渉方式（設計施工タイプ）」についてその概要を、入札不調対策として実施している対策のうち「拡大型指名競争入札」、「入札前価格交渉方式」についてその概要と効果・課題等について報告するものである。

2. 当社における入札契約方式の体系

当社では、国土交通省での取組み事例を参考に、当社の事業特性に応じた入札契約方式を表-1に示す4つの構成要素に体系化し、工事の性格や地域の実情等の事業特性に応じて最適な方法を選択し、組み合わせて適用できるように体系化を進めている。今後、当社におけるモデル工事の結果や実施状況を踏まえ、事業特性に応じた入札契約方式の体系化、適用案件の判断基準などの追加・整理・明確化を進めていく。

表-1 入札契約方式の構成要素

入札契約方式の構成要素	内容
契約方式	契約の対象とする業務及び施工の範囲の設定方法 (原則:設計・施工分離発注方式)
競争参加者の設定方法	契約の相手方を選定する際の候補とする者の範囲の設定方法 (原則:一般競争入札又は条件付一般競争入札)
落札者の選定方法	契約の相手方の候補とした者から、契約の相手方とする者を選定する方法 (原則:総合評価落札方式)
支払方式	契約の対価を支払う方法 (原則:総価単価契約方式又は総価契約方式)

契約方式	競争参加者の設定方法	落札者の選定方法	支払方式
設計・施工分離発注方式	一般競争入札	総合評価落札方式	総価単価契約方式 (土木工事等)
詳細設計付工事発注方式	条件付一般競争入札	自動落札方式 (価格競争)	総価契約方式 (施設工事)
設計・施工一括発注方式	拡大型競争入札	指名競争入札	
設計段階から施工者が関与する方式(EOI方式)	指名競争入札	技術提案・交渉方式 (設計交渉・施工タイプ)	
	随意契約		

図-1 入札契約方式の体系化

3. 取組み実施事例の紹介

(1) 設計・施工一括発注（DB）方式

当社が管理する供用中の高速道路の床版取替工事において、予め工事目的物である床版構造を特定せず（標準案を示さず）、民間企業の優れた技術力を活用し、対象工事の特性を踏まえた、施工性・安全性・対面通行規制期間等といった施工技術及び構造形式について幅広く技術提案を募集することを目的とした、「設計・施工一括発注方式」を実施した。なお、調達手続きは、総合評価落札方式（技術提案評価型）により落札者の選定を実施した。

本方式においては、工事目的物である床版構造について技術提案を求めるため、競争参加者毎に床版構造が異なり、適正な積算価格が入札参加者の提案する工事目的物毎に存在することになる。このため、総合評価における評価値の算出方法については、他社の床版構造及び価格の影響を受けない、技術評価点を入札価格で除す「除算方式」とした。また、対象工事の契約制限価格の設定に際し必要な仕様及び規格は、「技術評価点の最も高い技術提案」を基準とすることが妥当であるため、契約制限価格の設定にあたっては、積算基準類によるもののほか、技術評価点の最も高い技術提案を提出した者の最終見積書を活用し設定した。



図-2 設計・施工一括発注方式の流れ

(2) 設計段階から施工予定者が関与する方式「ECI（アーリー・コントラクター・インボルブメント）方式」

当社が管理する供用中の高速道路のT坑口上部の危険因子である岩を除去する工事において、お客様への安全対策が最重要となることから、確実な安全対策を踏まえた施工計画とする必要があるため、設計業務と並行して施工業者が設計照査・施工計画等を行い、設計業務にその検討結果を反映させる「設計段階から施工予定者が関与する方式」を実施した。なお、調達手続きは、公募型プロポーザル方式により相手方（施工予定業者）を特定する基本契約により実施した。

締結した基本契約は、施工計画検討業務の個別契約と

工事の個別契約を含み、コンサルタントが行う設計業務と施工予定業者が行う施工計画検討業務を相互に反映し、管理基準値策定及び設計内容・施工計画等の妥当性・成立性の確認等を実施している。これらの成果を反映させた設計成果に基づき、施工予定業者と施工条件・価格等の交渉を行い、合意された場合に工事の個別契約を行うこととしている。

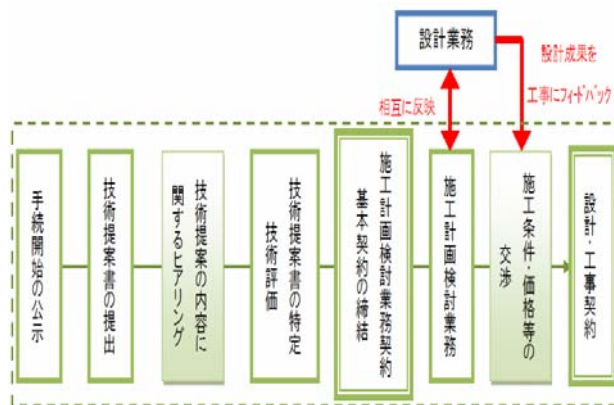


図-3 設計段階から施工予定者が関与する方式の流れ

(3) 技術提案・交渉方式（設計交渉・施工タイプ）

当社が発注する工事の性格等により、最適な仕様を設定できない場合や、仕様の前提となる条件の確定が困難な場合など、当該工事の仕様の確定が困難な場合に、当社が発注する工事の目的を達成するため、当社の要求を最も的確に満たす技術提案を公募し、審査のうえで最適な技術提案を採用し、当該技術提案を踏まえて仕様・価格を決定する「技術提案・交渉方式（設計交渉・施工タイプ）」を実施した。

本方式は、技術提案に基づき選定された優先交渉権者と設計業務の契約を締結すると同時に、工事の契約に至るまでの手続に関する基本協定を締結するものであり、設計業務に関する協議・交渉を実施するため、設計のプロセスを優先交渉権者と発注者と共同で実施でき、かつ、コスト・工期について合意したうえで、工事の個別契約を行う方式である。



図-4 技術提案・交渉方式（設計交渉・施工タイプ）流れ

4. 入札不調対策の経緯と現況

(1) 入札不調の発生状況

当社における平成18年以降の入札不調の発生状況をみると、平成24年度から急激に上昇し、平成25年度のピーク時には27.4%となった。

このような状況から、平成25年度より入札不調対策として拡大型指名競争入札及び入札前価格交渉方式などの適用を拡大している。

これらの対策により、入札不調の発生率は減少し、平成27年度は13.5%となっている。



図-5 当社の入札不調発生状況

(2) 入札不調の状況と背景・要因

入札不調となる工事の背景・要因としては、技術者・技能労働者の不足、資機材価格の高騰等のほか、施工箇所の点在・施工ヤードが狭小・鉄道交差部であるなど施工難易度が高いといった施工条件に起因するもの、工事規模が小規模・複数工種の工事・求める施工実績が僅少・専門工事業者が実施する工事・高速道路の交通規制などの工事内容に起因するもの、その他、発注見通しが未公表・入札公告の見落とし・震災復興や施工内容が同等な工事の同時期発注など施工体制の確保が困難な場合などが考えられる。

5. 入札不調対策の概要と効果

(1) 入札不調対策の概要

入札不調対策として実施している拡大型指名競争入札及び入札前価格交渉方式の概要について以下に述べる。

a) 拡大型指名競争入札

拡大型指名競争入札とは、当社に競争参加資格登録している有資格者で、競争参加資格要件を満たす者を全者指名し、指名による確実な競争参加者の確保を行うとともに、指名業者以外を対象に競争参加者を公募し、競争参加資格ありとされた全ての者に対して入札参加を認め

ることで競争性の拡大を図り、調達の確実性を高めることを目的とした入札方式である。

本方式については、入札不調発生後に再調達する際に適用する方式として制度化されたが、平成25年10月より、全社的に入札不調の発生率が高い工種及び等級に限定して当初調達においても適用可能とした。その後平成27年3月には、適用可能な工事の工種及び等級を拡大している。

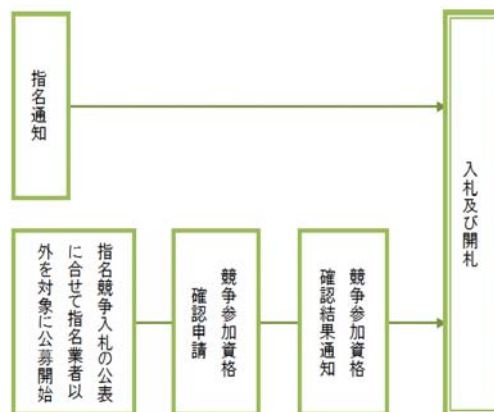


図-6 拡大型指名競争入札の流れ

b) 入札前価格交渉方式

入札前価格交渉方式とは、資材等の急激な価格変動、特殊な条件などの理由により積算基準類等を用いることが合理的でないと認められる場合に、入札者に見積書の提出を求め、当該見積りに関する技術交渉を行い、交渉後に最終見積りの提出を求め、この最終見積書を活用して契約制限価格を設定する方式である。

本方式については、積算基準類を用いることが合理的でないと認められる場合に適用する方式として制度化されたが、平成25年10月より、入札不調対策としても適用可能とし、全社的に入札不調の発生率が高い工事の工種及び等級に限定して適用可能とした。その後平成27年3月には、適用可能な工事の工種及び等級を拡大している。

技術交渉は、当社が要求する仕様に適合した契約制限価格を設定するため、入札者が行った見積りが、当社が設計図書に示す性能・機能や施工条件等を満たす条件で算定されたものであるか、見積書に記載された価格が適正な算出方法により算定されたものであるか等について確認を行うものであり、技術交渉を行う際は、特に「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」に定める「優越的地位の濫用」をはじめとし、「建設業法」に定める「不当に低い請負代金の禁止」及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」定める「歩切り」などに当たらないよう、十分注意して交渉を実施している。



図-7 入札前価格交渉の流れ

(2) 入札不調対策の効果

入札不調率が最も高かった平成25年度から比較すると、入札不調率は5割程度減少。不成立については、依然として一定数発生しているが、不落札については、8割程度減少した。不落札の発生率が大きく減少したことから、入札前価格交渉方式の効果が大きく現れているものと思われる。

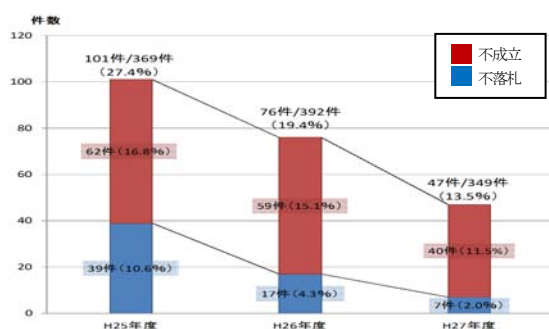


図-8 不成立・不落札別入札不調の傾向

(3) 現在の入札不調対策の課題と今後の対応方針

拡大型指名競争入札については、指名した者と、公募により参加した者との技術資料の作成期間に関する公平性の観点から、原則自動落札方式としており、当社にお

ける調達原則である、総合評価落札方式が採用できていない状況にある。

今後については、制度の見直し等により対応を図り、拡大型指名競争入札に総合評価落札方式を適用することを検討している。

入札前価格交渉方式は、競争参加者においては、見積額の合理性・実現性を示す資料の提出を求めていること及び具体的な内容について説明できる者（場合によっては複数の者）を技術対話に参加させること、発注者においては、複数の者が全競争参加者に対して技術対話を行い、交渉記録書を作成するなど、競争参加者・発注者ともに交渉の実施に係る事務負担が大きくなっている。

今後については、適用工種の限定や交渉項目の絞り込みを行うことにより、事務手続きの削減を図っていくことを検討している。

6. おわりに

本論文において紹介した「設計・施工一括発注方式」、 「設計段階から施工予定者が関与する方式」、 「技術提案・交渉方式（設計施工タイプ）」については、現地において試行工事を実施中であり、これらの実績を検証し特定の条件下における特定更新等事業に対する調達・契約方式として活用していく予定である。

また、入札不調対策については、前述した対策のほか、業務の適正化及び効率化を目的とした新たな制度について、他の発注機関の事例等も参考に検討していきたい。

(2016. 10. 受付)

A VARIETY OF BIDDING AND CONTRACT SYSTEM IN ACCORDANCE WITH PROJECT CHARACTERISTICS

Kiyoshi KOYANO and Yasuyuki MATSUMOTO

NEXCO East Japan will be and is facing with issues such as "the peak of Renewal Project" and "the failure of bid". With respect to these issues, we have been implementing some trials of contract system corresponding to specific project characteristics and measures against the failure of bid. In this paper, it is reported a variety of initiatives of implementations in response to the characteristics as well as the effects and challenges of measures against the failure of bid.